2026 年 7 月　ver.1

研究課題名	大腿動脈露出における鼠径部切開による Surgical Site Infection (SSI)の検討
研究の意義・目的	心臓血管外科での手術では、術後の細菌による感染症の発生率は消化器系の術後より低いのですが、一定の割合で発生します（2%程度）。腹部大動脈瘤の手術や下肢の閉塞性動脈硬化症（最近では足梗塞とも言われます）の手術では、太ももの付け根（鼠径部）を切開して、大腿動脈を露出することがあります。ところが、その鼠径部のきず（創）は、下肢の曲げ伸ばしの影響で創が治りにくいことがあります。その影響で細菌が感染することがあります。本研究では、当院・心臓血管外科で行われている腹部大動脈瘤の手術や下肢の閉塞性動脈硬化症に対する手術で、鼠径部を切開した創の感染について調査します。この調査によって、感染の原因などを調べることは、今後の治療に役立つと考えられます。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ～　2030 年 3 月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2021 年 4 月～2026 年 3 月の期間で、大阪公立大学医学部附属病院　心臓血管外科にて、腹部大動脈瘤、下肢の閉塞性動脈硬化症に対して、手術を受けた患者様が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：年齢、性別、既往歴、嗜好歴、治療歴、身長、体重、血圧、 上肢下肢血圧比（ABI）、Fontain 分類、手術方法、ステントグラフトの種類、人工血管の使用有無、生体材料の使用有無、鼠径部の切開方法（斜切開、縦切開）、抗菌薬使用の有無、抗菌薬の種類、投与期間、創部の感染有無、治癒遅延の状況、菌培養検査の結果
試料・情報を利用する者の範囲および管理について責任を有する者の研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科　心臓血管外科学、集中治療医学で行います。 【研究責任者】集中治療医学　病院教授　藤井弘通
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

研究に協力をしたくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院　集中治療科 担当者氏名：藤井　弘通 電話番号：（06）6645-3993